



# さくら



校訓「ほんきで なかよく きまりよく」【学校創立149年・地域に支えられ、がんばる桑っ子】

学校教育目標 …「なかまとともに 学び合う 桑っ子」

重点目標…「認め合い 高め合う子」

## 感動ある学びを子供とともに

4月7日に、校長を講師として、本校職員を対象に授業改善についての研修会を実施しました。子供たちは、いろいろな思いや考えを持っています。だから、授業ではそうした一人一人の良さを認め、互いに高めていくことが求められます。

そして、学校は、できないこと、知らないこといっぱいの子供たちが、できる喜び、知る喜びに出会うところです。たとえ、それができたとしても学びは終わりません。なぜなら、自分の目標に達成したとき、更なる次の目標が見え、新たな「問い」が発生するからです。学ぶ感動は続きます。終わりはないのです。

さて、そうした感動ある学びのキーワードとして、今年度は、3つを挙げました。子供たちには、4月の入学式や始業式で話をし、校長室の前の廊下に、「タイ」「フク」「カエル」のイラストを掲示しました。

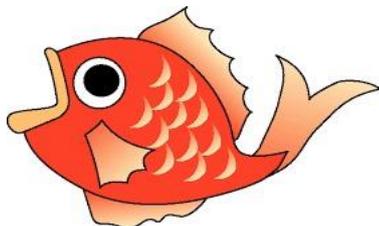


【4月研修会の様子】

### タイー「シタイ」、「なりタイ」

子供自らが課題をもち、「やってみたい」、「なりたい」、「解決したい」等、自分ごととして学ぶ姿勢を大切にします。

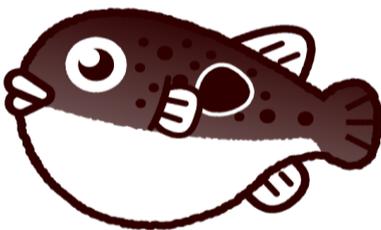
子供のもつ『タイ』を学びの芽として捉え、育成を目指す資質・能力を育てていきます。



### フグー「フク」らませる

子供は、友達との話し合い活動や共に学ぶ活動等から、様々な情報を得たり、自分の考えを整理したりしながら、新たな知識・技能を習得し、自分の思いや考えを膨(『フク』)らませていきます。

このとき、自分を大切にするとともに、友達を大切に  
する姿勢を育てていきます。



### カエルー「ふりカエル」

子供自らが「振り返り(『カエル』)」をすることで、自分の成長が見える化することが大切です。子供は、活動中には自分の成長に気付くことが難しいのです。これは、わたしたち大人も同様です。

自分の成長が自覚化されると、そこに新たな問いが生まれ、次の学びへとつながっていくのです。「振り返り」を大切にすることで、自分の成長を自覚し、更なる成長を目指す子供たちを育てていきます。



これから暑さが厳しくなっていきますが、それに負けないように、本校の学びも、一人一人の良さを大切にしながら、益々熱く取り組んでいきたいと思っております。(文責 渡邊)



日	曜	給	週	行事予定	日	曜	給	週	行事予定
1	水	○	A	自然教室説明会 心電図検査 (1,4年)生活習慣病検査(6年) 桑村道場開校式	16	木	○	A	マルベリー
2	木	○	A	歯磨き教室(5年) 読み聞かせバイキング~6日	17	金	○	A	
3	金	○	A	葦山史跡巡り(6年・弁当)	18	土			地区PTA指導者講習会
4	土				19	日			
5	日				20	月	×	B	3時間授業
6	月	○	B	眼科検診(全学年)	21	火	○	B	交通安全リーダーと語る会 自由参観(2,3校時)懇談会
7	火	○	B		22	水	○	B	自由参観(2,3校時) 縦割り班会議 桑村道場
8	水	○	B	縦割り班会議 縦割り遊び 桑村道場	23	木	○	B	自由参観(2,3校時) スクールカウンセラー来校 あのねた仏(~1日)
9	木	○	B	ふうせんかづら1年	24	金	○	B	
10	金	○	B		25	土			
11	土				26	日			町青少年健全育成大会
12	日				27	月	○	A	交通安全教室(中高)
13	月	○	A	民生委員と語る会	28	火	○	A	委員会活動 代表委員会 SST
14	火	弁	A	自然教室	29	水	○	A	縦割り遊び
15	水	○	A	自然教室 桑村道場(4・5年×)	30	木	○	A	

### 避難訓練の実施～危機意識を高める～



4月21日に火災想定での避難訓練を行いました。コロナ渦ですので、全校一斉に行うことはせず各年毎に避難経路の確認を行うこととしました。

子供たちが安全安心に学校に通うことができるように環境を

整えることは行政や学校の責務であると考えます。しかし、小学生とはいえ、自分の命は自分で守る「自助」ができるようになることも大切なことです。

避難するとき、おしゃべりをしないで避難するのはなぜか、防災ずきんはなんのために被るのか、ハンカチを口に当て、避難するのはどうしてか、考え、その意味を理解して行動できるようになると訓練の効果はあがると思います。

火災に限らず自然災害はいつ起こるか分からないものです。ご家庭でも話題にしていたけると大変ありがたいです。



### 家庭訪問ありがとうございました

お忙しい中、お時間をとっていただきありがとうございました。コロナ渦の訪問でしたので、短時間の訪問とさせていただきました。

短時間の訪問でしたので、聞き逃したことや学校へのご質問などがありましたら、遠慮なくご連絡ください。